

ネオセラメントLSは普通セメントをベースに数種類の無機系材料を加えることにより、軟弱土の地盤改良に効果を発揮することができます。



「ネオセラメントLS」の特長

① 比較的良質な軟弱土の固化に適します。

砂質土、シルト等の土質の中で比較的良質な軟弱土の固化に最適な固化材です。

② 様々な施工方法に対応できます。

粉体のまま固化対象土と混合することはもちろん、スラリーあるいはソイルモルタルとしても固化することができます。

③ 改良土からの六価クロム溶出量を低減します。

従来の一般軟弱土用固化材と比較して、六価クロム溶出量を少なく抑えることができます。

「ネオセラメントLS」の性状

記載の数値は参考値となります。
最新の製品情報は、当社営業部へお問い合わせください。

密度 (g/cm ³)	化学成分(%)			
	SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	SO ₃
3.01	25.0~29.0	9.5~11.5	48.5~52.5	<6.0

六価クロム溶出試験例

改良対象土の性状により改良土から極まれに土壌環境基準値以上の六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行って確認することが大切です。

試料土	添加量(kg/m ³)	六価クロム溶出量(mg/l)
砂質土 自然含水比=20.2% 湿潤密度=2.014g/cm ³	50	<0.02
	100	〃
	150	〃
砂質シルト 自然含水比=45.1% 湿潤密度=1.792g/cm ³	50	〃
	100	〃
	150	〃
シルト 自然含水比=66.8% 湿潤密度=1.621g/cm ³	100	〃
	150	〃
	200	〃

試験方法:環境庁告示46号法に準拠

水溶性六価クロムの土壌環境基準は0.05mg/l以下となっております。ただし、当該土壌が地下水面から離れており、現状において当該地下水中の六価クロム濃度が0.05mg/lを超えない場合は0.15mg/lが適用されます。

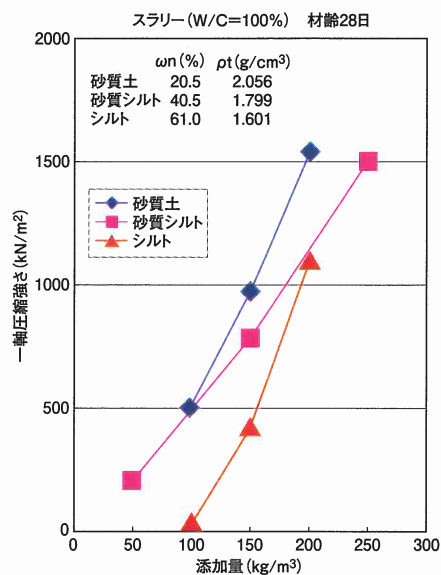
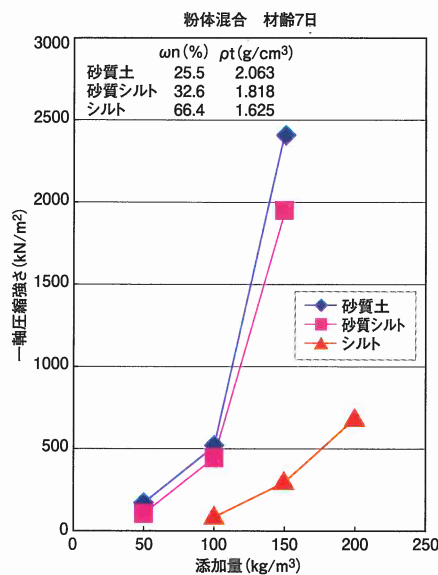
定量下限値:0.02mg/l

セメント系固化材(特殊土用)

ネオセラメントLS(NCR-LS)

室内配合試験例

同じ種類の土質でも、含水比、湿潤密度、粒度分布等の違いにより強度発現が大きく変動する可能性がありますので、事前に配合試験を行って確認することが大切です。



荷姿

バラ

1tフレコン

取り扱い注意

1. 防塵マスク、防塵メガネ、手袋等の保護具を必ず着用してください。また、長時間吸入すると、人体に害を及ぼす恐れがあります。
2. アルカリ性のため、皮膚に直接製品が触れないようにしてください。また、目に入った場合は迅速に大量の水で洗い、専門医による適切な処置を受けてください。
3. ネオセラメントLSは地盤改良用固化材ですので、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
4. ネオセラメントLSを過剰に添加した場合に、結合水の不足により固化不良を起こしたり、土との混合が不十分な場合に膨張を起こす可能性がありますので、適正な添加量で十分に混合して使用してください。
5. ネオセラメントLSには極微量のクロム化合物が含まれており、これを用いた改良土から極まれに土壌環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があります。使用に際しては事前に試験を行って溶出量を確認してください。

フレコン取り扱いのお願い

1 吊上げる場合

急な吊上げ、吊おろしはしないでください。

横びきはしないでください。

吊ロープのフックを正しく掛け、片づりはやめてください。

2 排出する場合

内容物は残留しないよう全量排出してください。

発塵防止の為できるだけ低い位置で排出してください。

吊上げたフレコンの下に入らないでください。

3 保管する場合

仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。

問い合わせ先

株式会社デイ・シイ セメント事業本部 営業部

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 バレール三井ビルディング17F
 TEL:044(223)4753 FAX:044(223)4759
<http://dccorp.jp/>